

wakamONO

越前大野における空地に対する考え方

町家街区班

九州大学大学院

関西大学大学院

弘前大学

福井大学大学院

首都大学東京大学院

瓜生 宏輝

藤原 康晃

成田 梨菜

福田 善成

澤田 昇平

まち歩き



現状

大野市では町中居住をうながすために様々な政策をとってきた。
まちなか町家暮らし支援事業、越前おおの伝統民家普及促進事業が
その代表と言える。

「まちなか町家暮らし支援事業」助成修景基準

種別	項目	助成修景基準	助成対象内訳
建築物	屋根	・越前瓦葺き、または越前瓦葺き風とする。 ・2階の底の軒裏は、塗りまたは漆木のあらわしとする。	・壁紙葺き材（佛隠し、破風板、下地材を含む瓦等）の材料費を含む工事費。
	下屋根	・板葺き、金属葺き、越前瓦葺き、または越前瓦葺き風とする。 ・下屋根の軒裏は漆木のあらわしとする。	・材料費を含む工事費。
	軸（とい）	・黒、茶系色のものが推奨とする。	・材料費を含む工事費。
	壁面	・外壁 ・自然素材（漆喰仕上げ、板張り）のものか、吹き付け珪藻材やサイディング等を上手に活かして自然素材に準ずる仕上げとする。 ・表面は伝統的な「板張り＋上部漆喰」や「真壁」か、これらに準ずる仕上げとする。	・外観を構成するため及び防火構造とするために必要な最小限の下地材・仕上げ材等の材料を含む工事費。
附属工作物	建具	・玄関戸は本製の引戸とするか、漆または茶系色のつや消しのものとする。 ・窓枠は本製とするか、漆または茶系色のつや消しのものとする。 ・玄関戸や窓には、できる限り格子を設け、材料は本製か、漆または茶系色のつや消しのものとする。 ・建物に車庫を取り入れる場合の開口部は、通りの景観に配慮したものとする。	・外観を構成するために必要な建具や格子等の材料を含む工事費。
	広告物（看板）	・看板の幅は建物の開口に調和した規模とし、素材は木、紙等の落ち着いた素材感を持つものとする。 ・色鮮やかや変形は落着いたものとする。	・材料費を含む工事費。 ・処理費を含む看板等の撤去費。
	設備機器	・エアコン室外機、ガスボンベ等の設備機器は、通りから直接見えない位置に配置するか、木等で覆う。	・設備機器を収納するために必要な材料費を含む工事費。 ・設備機器の修繕費。
	その他	・通りから見える部分の色彩は、白、漆または落ち着いた茶系色とする。	・材料費を含む工事費。

まちなか町家暮らし支援事業の概要

助成の対象

大野市都市再生整備計画に掲げる「越前おおの城下町地区」において、町家型住宅の新築・改修を行う場合に、外観工事費の一部を助成します。

■ 助成の制限

- ・町家型住宅とは、住宅または店舗で市が定める基準を満たすものとする。
- ・施工者は、大野市内に住所または法人事務所を有する者とする。
- ・補助金の交付が事業の範囲を超える場合、要件を満たす者から対象者を選定する。
- ・助成金の交付は、助成の専断としない。
- ・補助金の交付は、同一敷地内で1回に限る。
- ・補助対象者は、工事完了後、15年間は固定および管理に務めるものとする。
- ・大野市官報第1号に定める登録町家地区は、対象地区に指定しないものとする。

町家型住宅の例



助成額

助成対象	種別	助成額
町家型住宅	新築	外観工事費の1/2 限度額100万円
	改修	外観工事費の1/2 限度額200万円
町家型共同住宅	新築	外観工事費の1/2 限度額400万円（1戸当たり50万円）

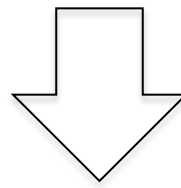
助成手続きの流れ



提出書類	提出書類	提出書類
①希望調査書(様式1)	●位置図 ●工事費または完成予想図(略図) ●町家写真	
②事前協議書(様式3)	●位置図 ●工事費(行為の内容を記載したもの) ●完成写真	
③交付申請書(様式4)	●位置図 ●工事費(行為の内容を記載したもの) ●完成写真(外観に係る部分が明らかになるもの)	
④完了実績報告書(様式5)	●位置図 ●工事費(行為の内容を記載したもの) ●完成写真(外観に係る部分が明らかになるもの)	●大野市納税証明書
⑤交付申請書(様式10)	●工事代金支払領収書の写し(外観に係る部分が明らかになるもの) ●工事監理報告書(建築士法第20条第3項に準じた様式) ●建築基準法第7条第5項による検査済証の写し(検査を受けた場合) ●工事写真 ●交付決定通知書の写し	

「まちなか町家暮らし支援事業」助成修景基準

まちなか町家暮らし支援事業



『このような現状対策がある上で、

私達は居住者・移住者の魅力的なまちなか居住環境を目指す。』

居住者・移住者目線での問題点

『まちなか居住』

居住者の環境・・・緑、風、水、日射、街区内動線
年齢層・・・若者の呼び込み

『背割り』

背割りの積極的活用

『空洞化』

駐車場の規模と配置の検討
空地の在り方
庭の使われ方





貸車場
4220-76
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-44-1111
FAX 03-44-1112
03-44-1113
03-44-1114



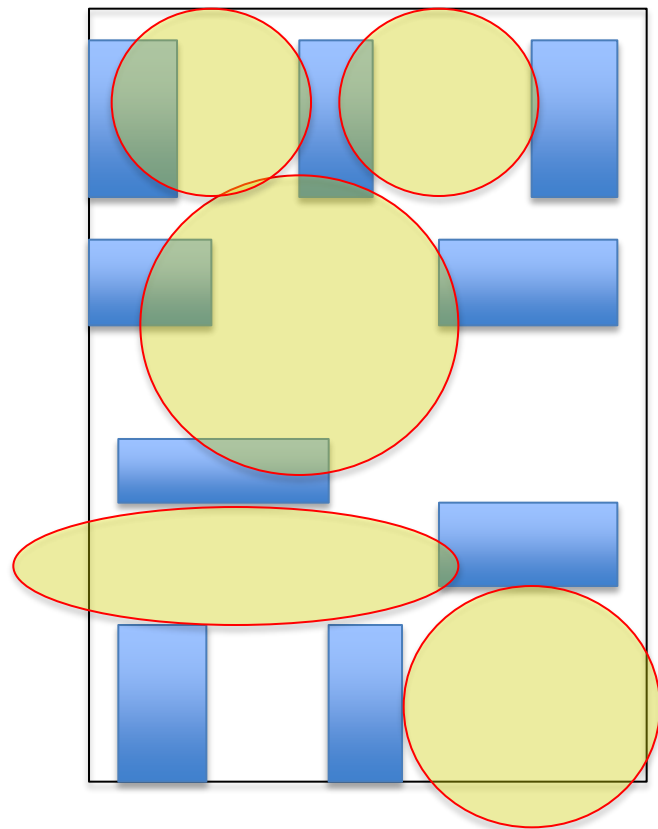
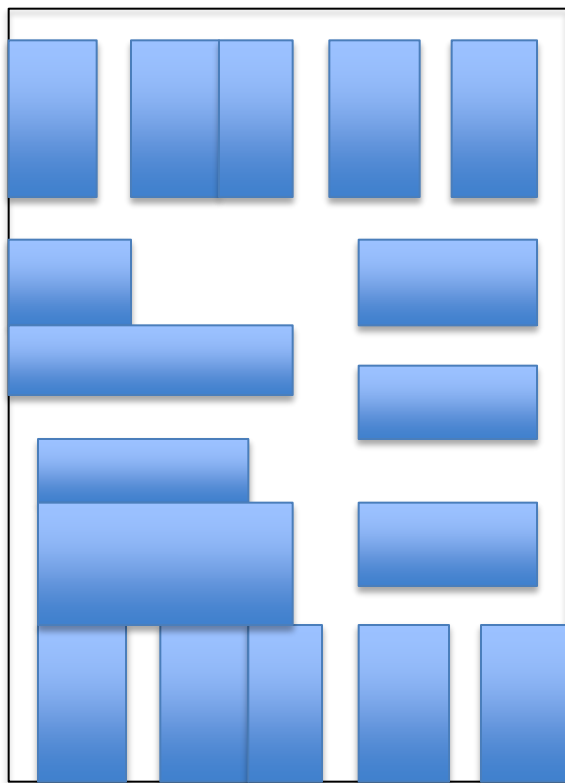


余白イメージ

街区の現在

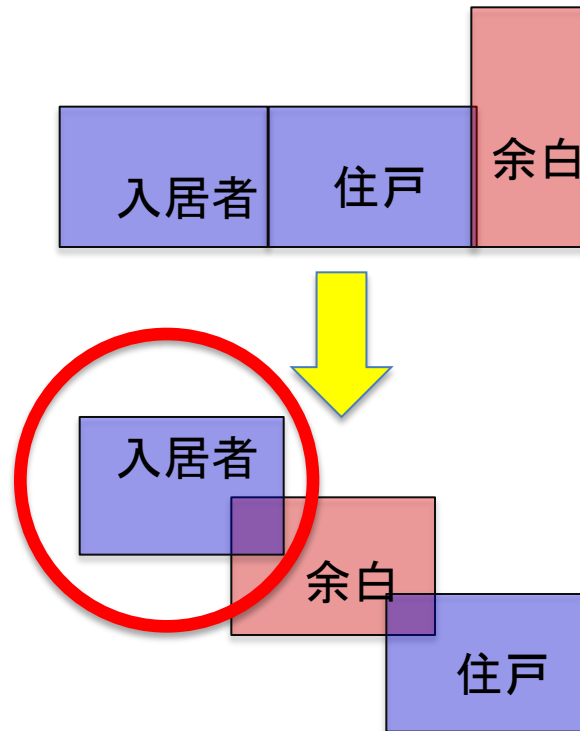
街区では駐車場が多く存在しており、そういった傾向の要因は空家の増加、建て壊しによるものと見られる。

このような空地が街区の空洞化を顕著に表し、今後月日を経つにつれて空洞化が街区中に広がっていくことが推測できる。



提案

このような空洞化した街区内のスペースに移住を考えている人にとって魅力的で、かつ現在の居住者にとっても環境を損なわない
まちなか居住の在り方を提案する。



『单身もしくは2人組の創作意欲を持った若者を短期滞在型で呼び込む！』

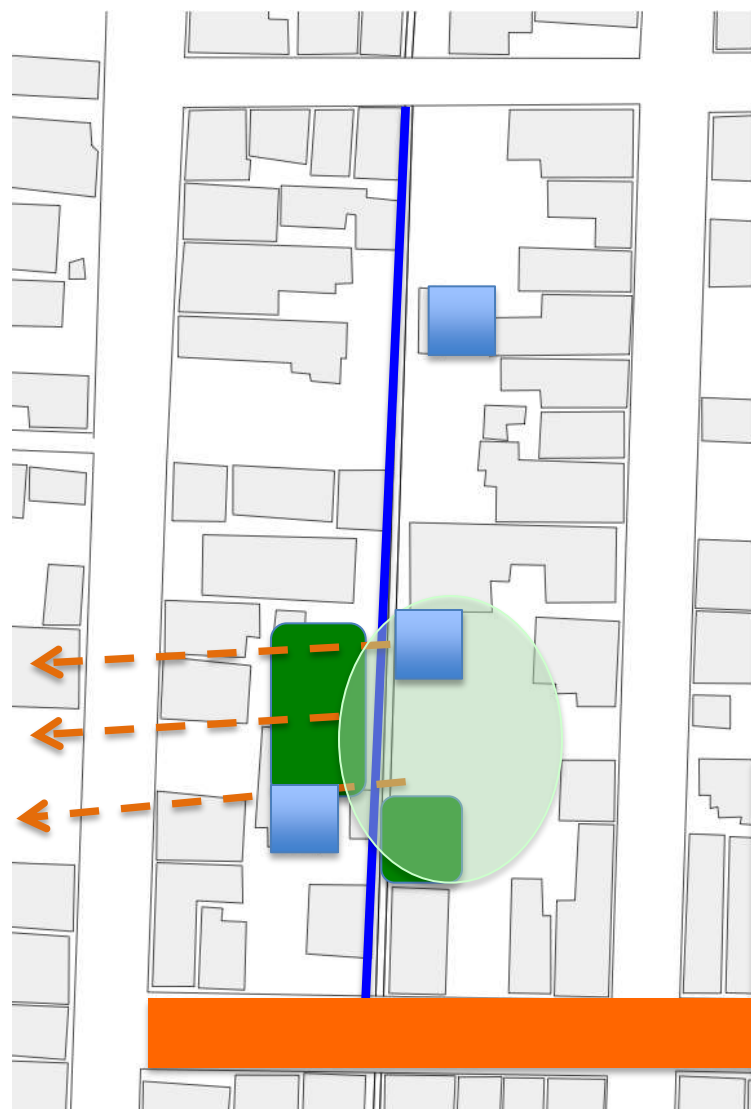
敷地



敷地写真



対象敷地の魅力



- 魅力1 管理はされてなさそうだが、豊富な緑がある！
- 魅力2 石で積まれた背割がある！
- 魅力3 ゆとりのある広さがある！
- 魅力4 大野城が見える！
- 魅力5 昔ながらの蔵がある！
- 魅力6 七間通りに接している！
- 魅力7 「学びの里めいりん」が近くにある！

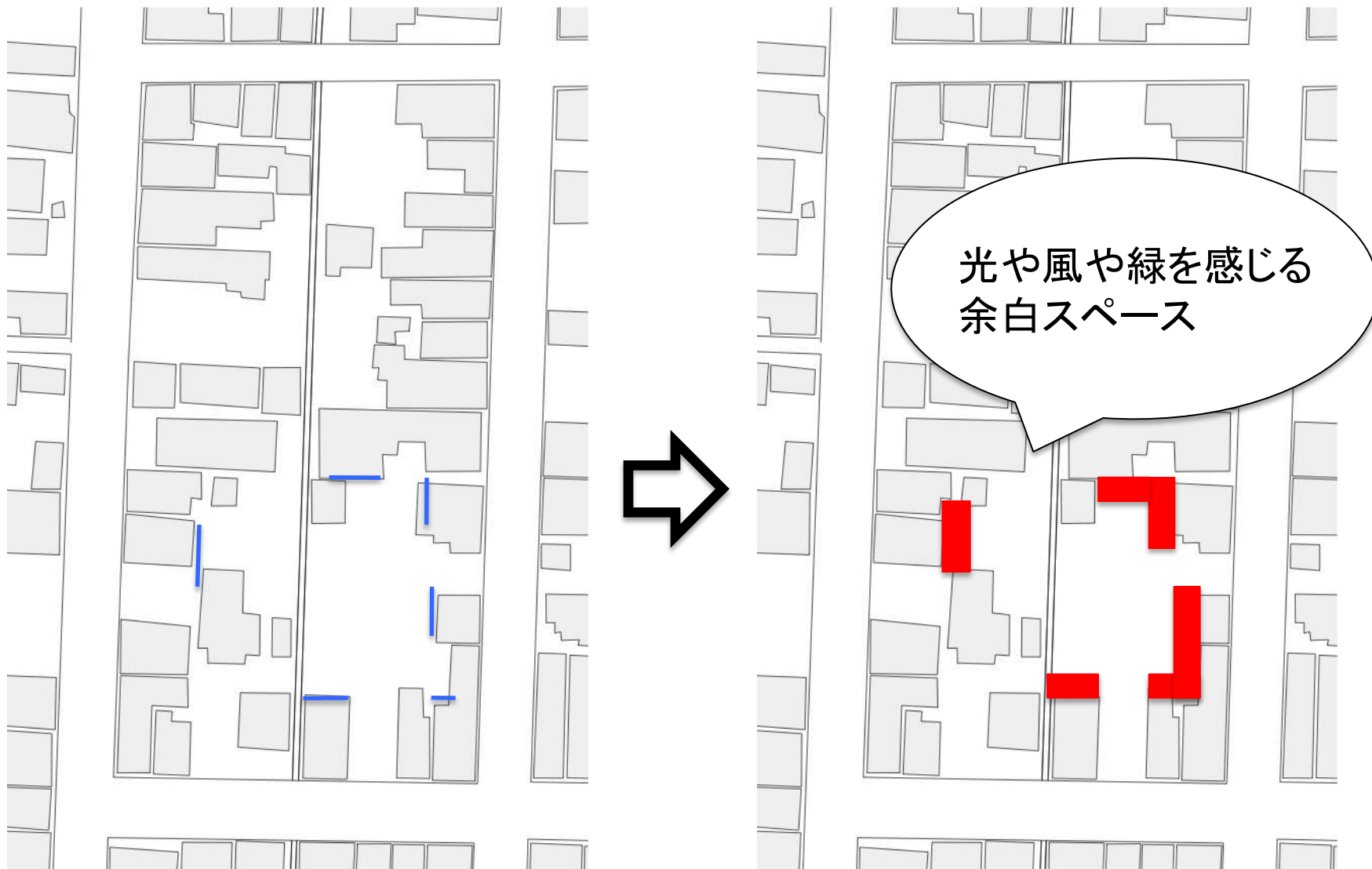


まとめると・・・

『豊かな居住空間を確保するために利用できる
ポテンシャルの高い余白が多く存在する』

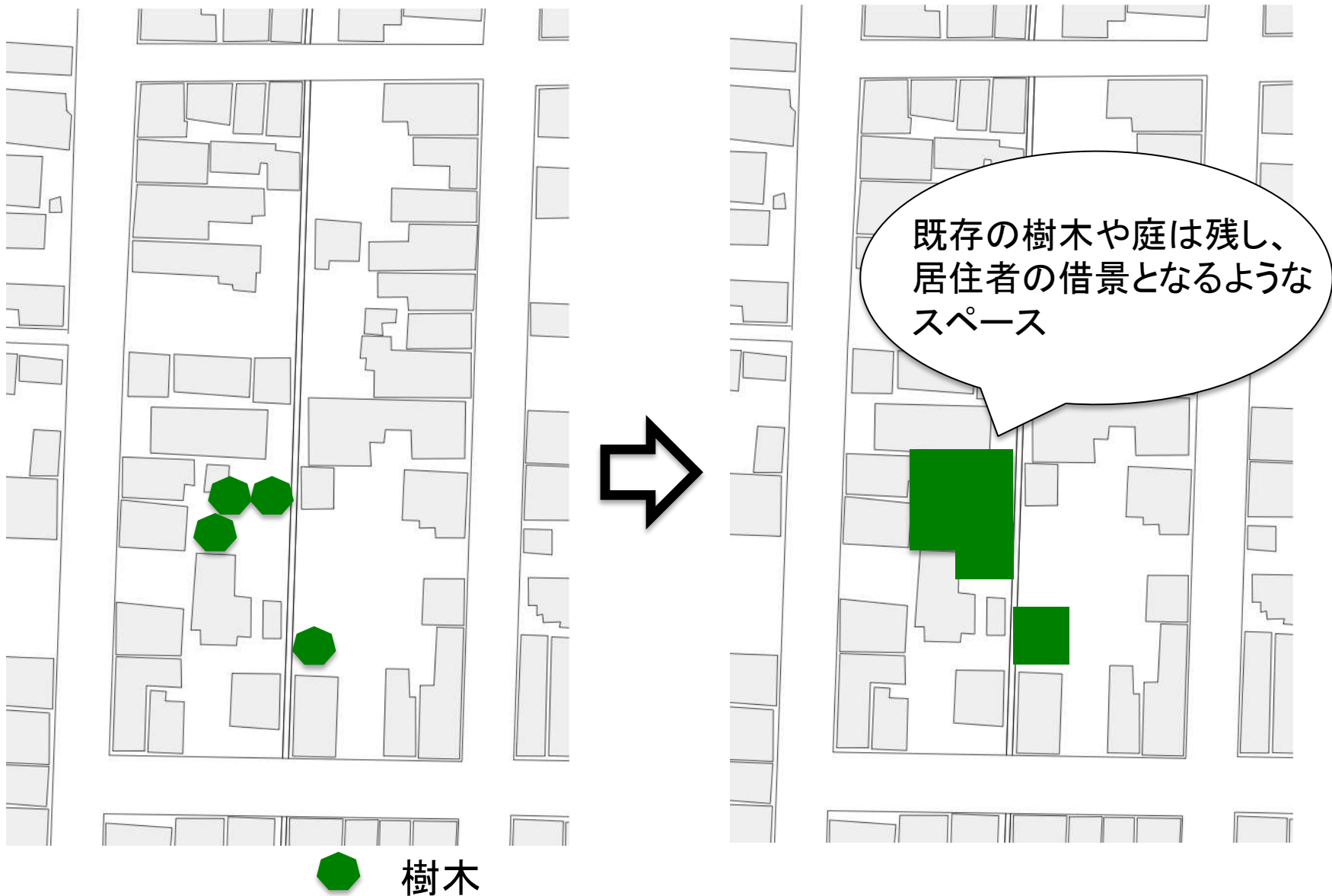
『商業施設や人通りの多い通りに接していて、展示会
等に活気をもたせることができる場所である』

『現在の近隣者居住者の居住環境を損なわないようにするために』



開口部

『現在の近隣者居住者の居住環境を損なわないようにするために』



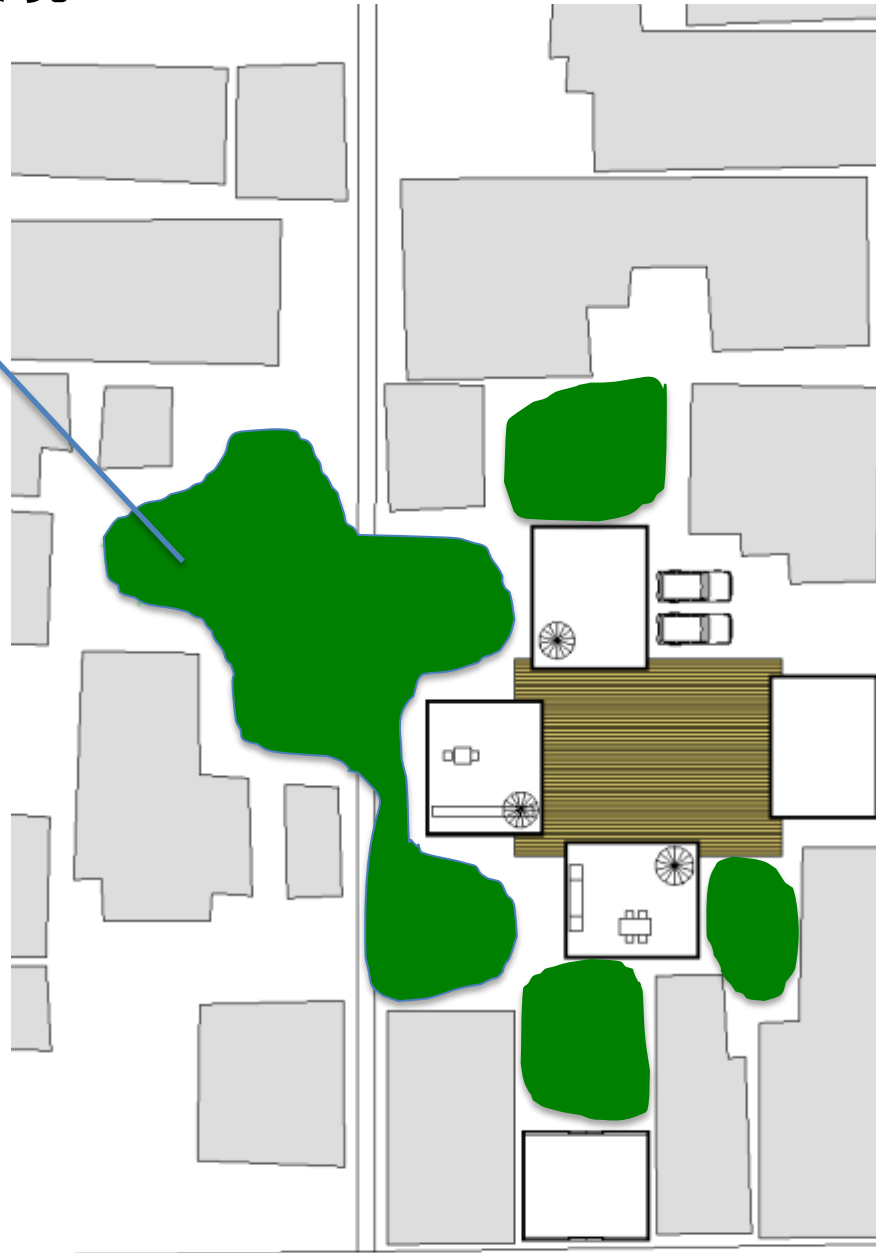
『移住してくる若者のために』

- ・豊かな居住環境
- ・趣味を生かす場所・ギャラリー
- ・豊富な作業スペース
- ・大野の特徴を感じ取れる場所・・・水の音、背割、大野城、

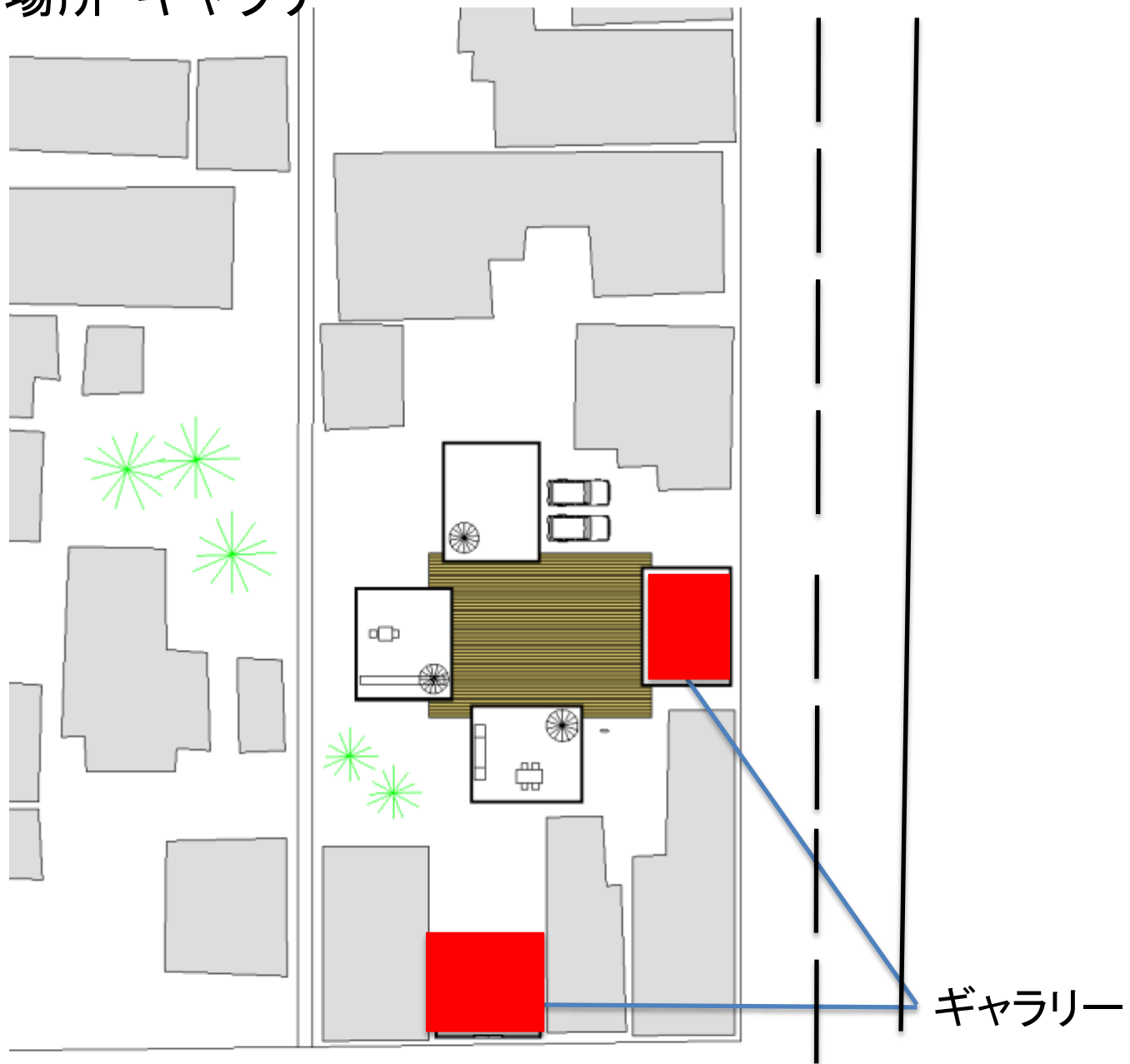
の提供

豊かな居住環境

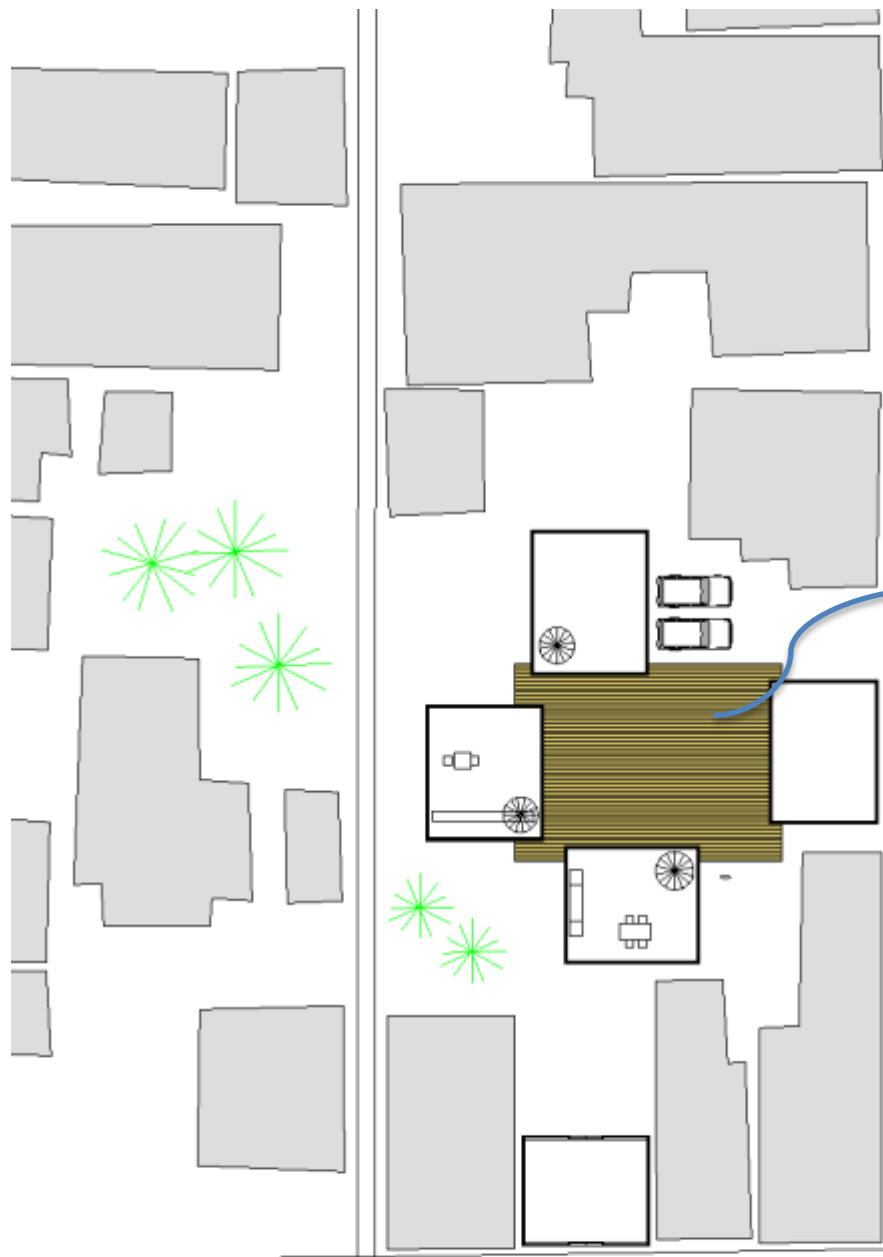
緑のスペース



趣味を生かす場所・ギャラリー



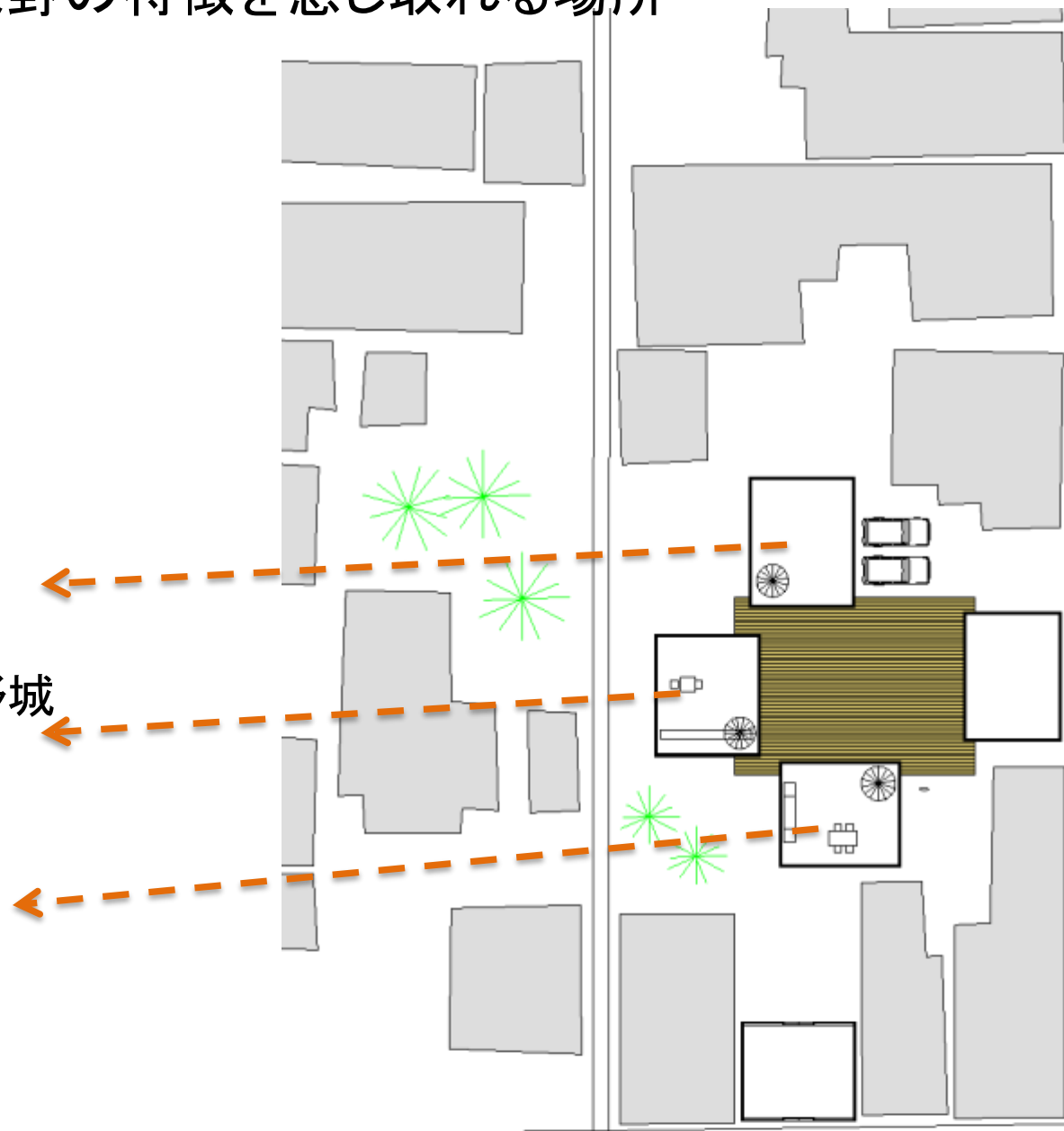
豊富な作業スペース



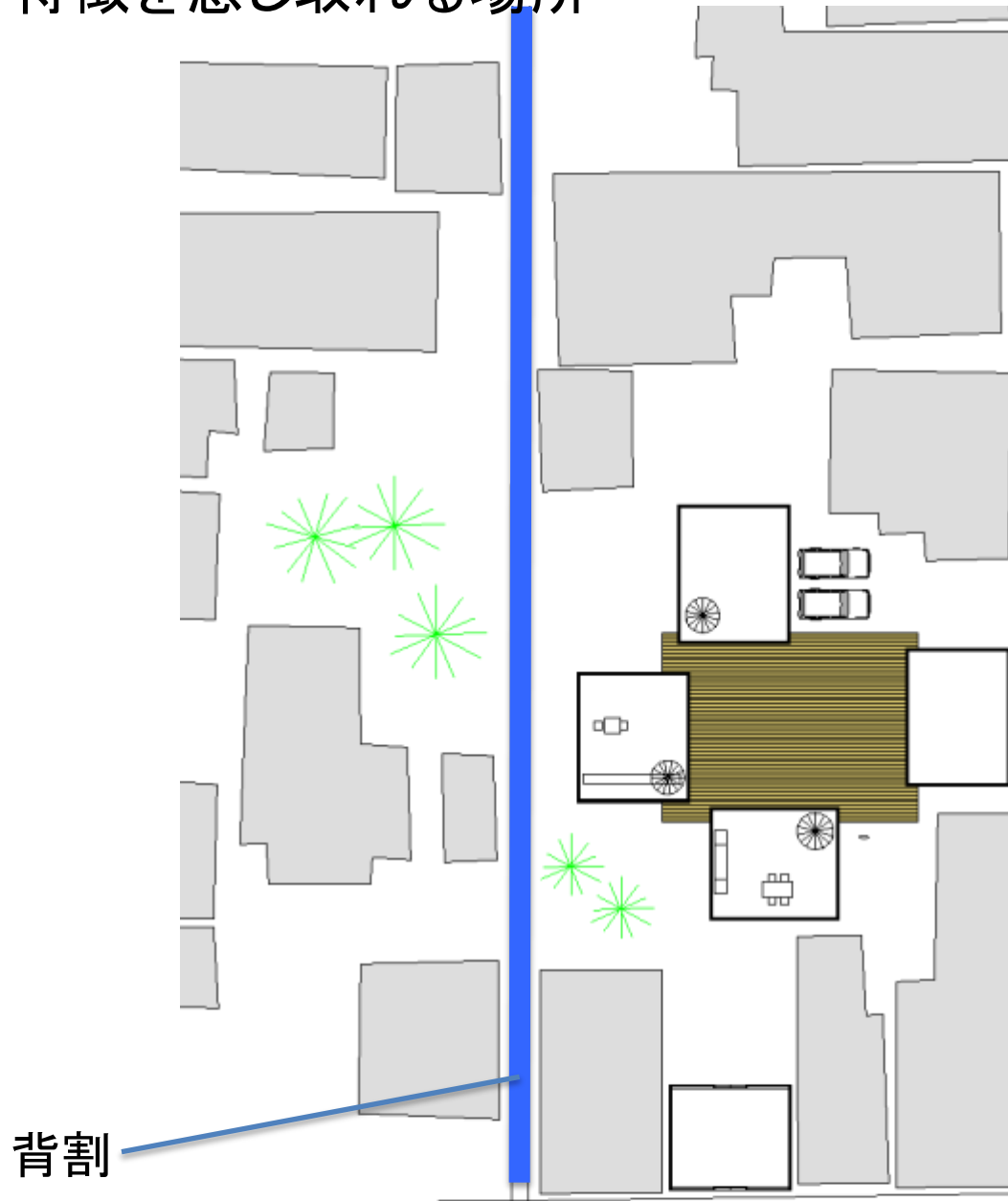
共有作業スペース

大野の特徴を感じ取れる場所

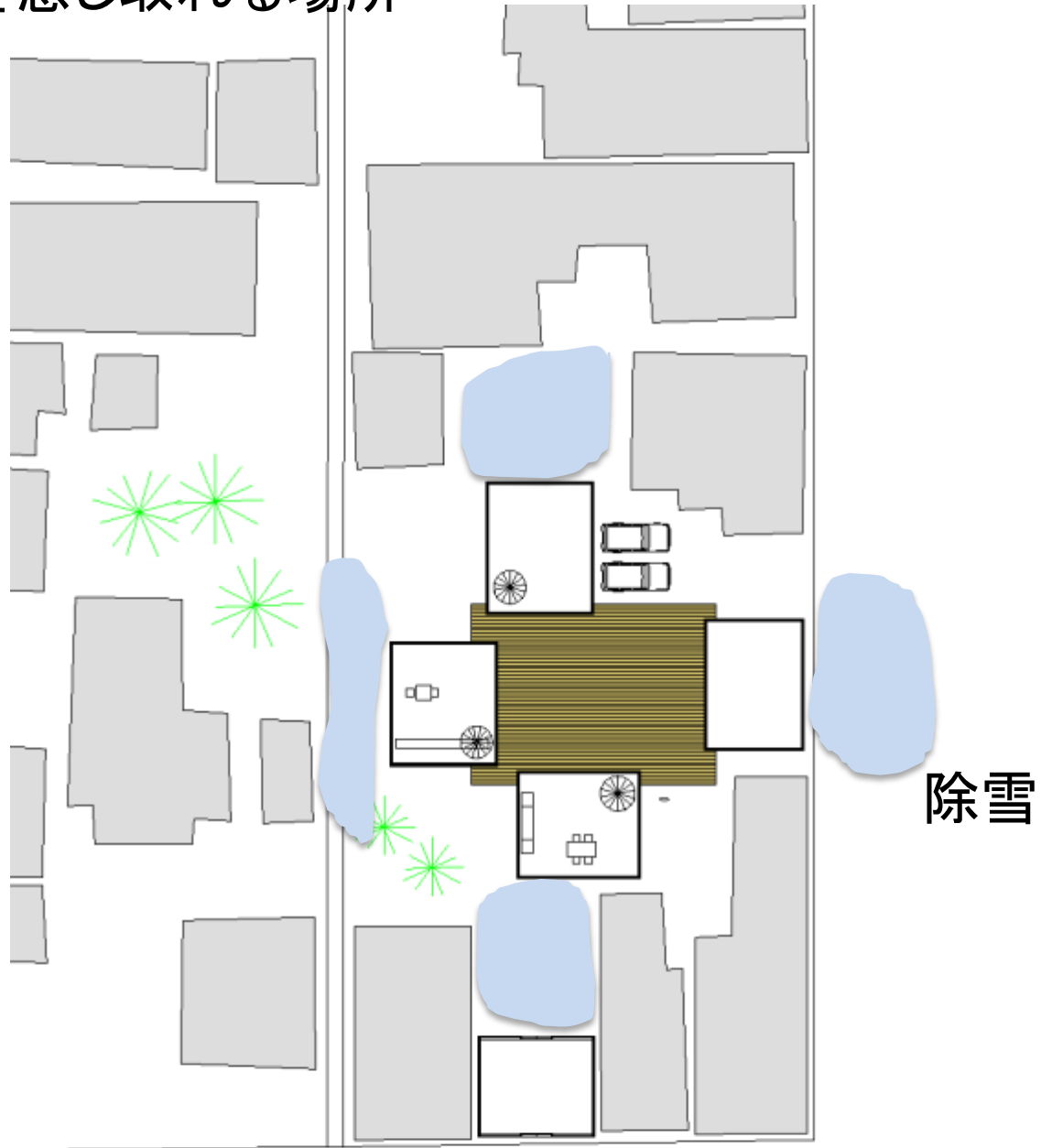
大野城



大野の特徴を感じ取れる場所



大野の特徴を感じ取れる場所



1F平面图



2F平面図



